

市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	南城市の魅力発見〚観光ガイドマップ作成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	企画部 観光商工課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	本市は世界遺産「斎場御嶽」など県を代表する観光施設を有し、年間を通じて国内外から多くの観光客が訪れている。本市の魅力をPRするため、日本語のみならず、外国語を用いた観光ガイドマップを作成する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,415				
		(b) 予算現額	2,415				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,415	0			
	執行状況	B. 執行済額	2,415				
		うち交付金充当額	1,932				
		次年度繰越額	0				
		執行率(%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	100%執行						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	南城市観光ガイドマップ作成(日本語・英語併記)	目標	(4万部作成)	()	()	()	
		実績	4万部作成				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	日本語と英語を併記した市全域のガイドマップを4万部発行した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	南城市観光ガイドマップ作成(日本語・英語併記)	目標	()	(4万部)	()	()	()
		実績		4万部			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	県内主要施設に配布し、レンタカーを利用して南城市を訪れる観光客等の利便性が向上した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ●観光マップだけでは、南城市情報発信は不十分。 ●配布方法の問題 現在作成したマップの配布先は県内だけであるが、沖縄を訪れる前段階での情報発信の方法についても検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地図だけでなく、県外・国外からの観光客目線にたち、より詳細な地域の情報発信の方法を検討が必要。 ●県外・国外での配布ルートと予算をあらかじめ確保し、配布を行う方法の検討が必要。

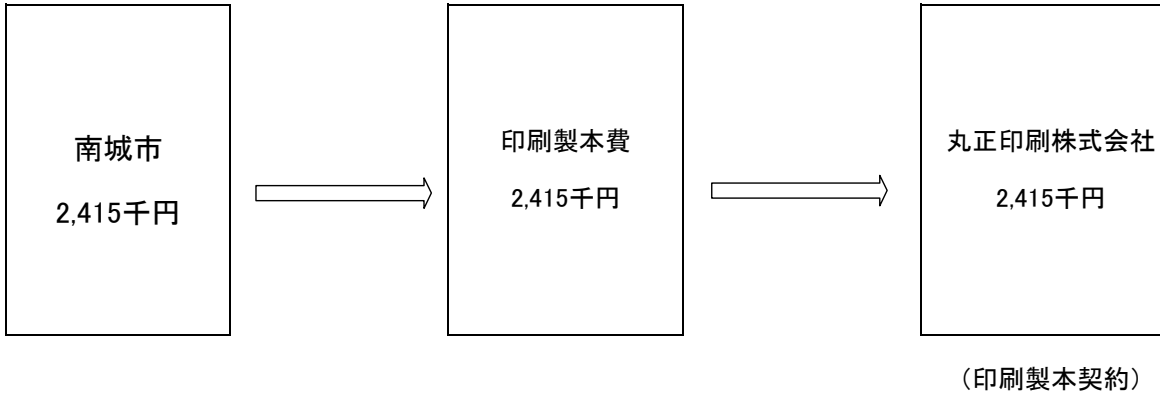
今後の取り組み方針

以下の点を踏まえた事業を今後計画し実施する。

①詳細な南城市の情報の収集方法、発信ツール
②情報発信の方法(発信先、配布ルート、予算等)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,415	2,415	1,932	483	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘察した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

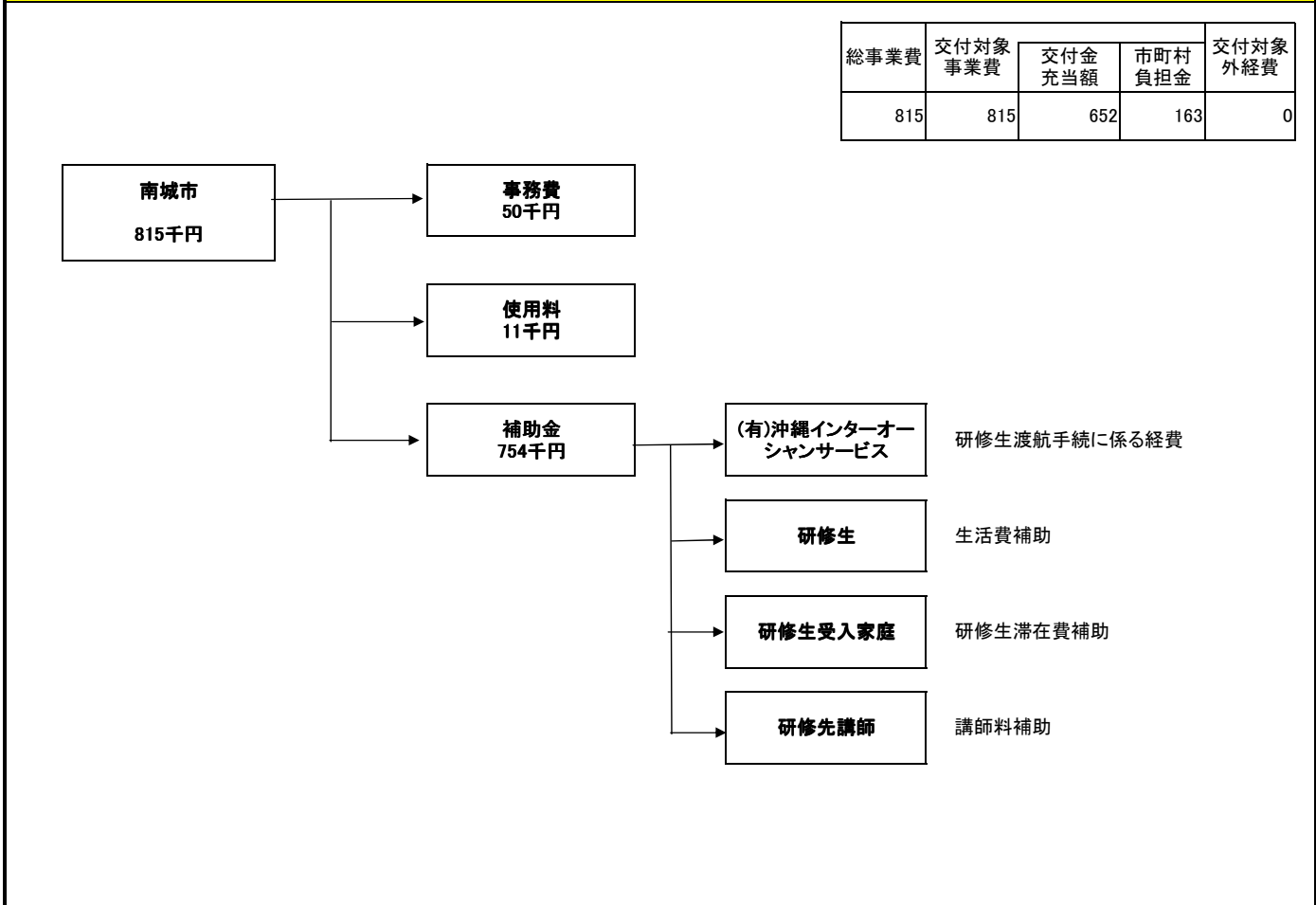
市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	海外移住者子弟研修・国際交流推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-ア	
担当部署名	企画部 まちづくり推進課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際ネットワークの形成と多様な交流の推進 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	本市と移住国との国際交流を推進するため、本市出身の海外移住者子弟の研修生を受け入れ、本市の文化・伝統・各種技術等の研修や研修生と市内小中学校との交流授業等を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	900				
		(b) 予算現額	900				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	-				
	A. 計 (b+d)		900	0			
	B. 執行済額		815				
	うち交付金充当額		652				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		90.6%				
予算の状況の説明		当初予算より85千円の不用額が発生しているが、当初計画していた研修内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	海外移住者子弟の研修生受入実施 アルゼンチン共和国研修生 1名受入	目標	(1名受入)	()	()	()	
		実績	1名受入				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	アルゼンチンから研修生を1名受入し、H24.12/21～3/8の間、南城市内を中心に研修を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	海外移住者子弟の研修生受入実施 アルゼンチン共和国研修生 1名受入	目標	()	(1名受入)	()	()	()
		実績		1名受入			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	アルゼンチンから研修生を1名受入し、H24.12/21～3/8の間南城市内を中心に研修を実施した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	県系人がアルゼンチンに移民してから3世代目、4世代目へと時代が変遷した。沖縄とアルゼンチンとの結びつきが薄れていく中で、受入家庭を見つけることが困難になっている。	今後の受入方法について、ウィークリーマンションや民泊の活用等を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

受入体制を見直しながら、海外在住の県系人とのつながりを活かして、積極的な国際交流を図っていきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勧業した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	久高島離島宿泊交流館施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	企画部 まちづくり推進課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	夏場の高温時においても、島民と観光客等が快適に交流できる環境を整備するため、久高島の観光拠点施設である宿泊交流館に空調設備を整備する						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,170				
		(b) 予算現額	3,045				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 125				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		3,045	0			
	B. 執行済額		3,045				
	うち交付金充当額		2,436				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		不用額125千円が発生しているが、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	久高島宿泊交流館の空調設備整備	目標	(空調設備整備)	()	()	()	
		実績	空調設備整備				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	平成24年12月に、久高島交流館の空調設備を4台整備した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	久高島宿泊交流館の空調設備整備	目標	()	(空調設備整備)	()	()	()
		実績		空調設備整備			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	久高島の夏場の高温時においても、島民と観光客等が快適に交流できる環境を整備するため、久高島の観光拠点施設である宿泊交流館に空調設備を整備する。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	久高島の宿泊交流館に空調設備を4台設置し、夏場の高温時においても、島民と観光客等が快適に交流できる環境を整備することができた。	施設の利用率を向上させる必要がある。
今後の取り組み方針		
・当施設の宿泊客や、施設を訪れた観光客等と島民が交流するための仕組みをつくり、島の活性化を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	3,045	3,045	2,436	609	0
<pre> graph LR A[南城市 3,045千円] --> B[工事請負 3,045千円] B --> C[有限会社 山城商工 3,045千円] </pre>					
資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目			評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。			○工事請負業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	魅力的な観光地づくりを図るため、世界遺産「斎場御嶽」周辺一帯の散策道、手摺り等の整備及び用地購入を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	91,835				
		(b) 予算現額	91,835				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	91,835	0			
	B. 執行済額	うち交付金充当額	71,349				
		次年度繰越額	0				
		執行率 (%) (B/A)	97.1%				
	予算の状況の説明	・不用額が2,648千円発生しているが、不動産鑑定による用地費減と委託費の入れ残によるものが主であり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備 ・実施計画の策定	目標	(実施計画策定)	()	()	()	
		実績	実施計画策定				
	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備 ・不動産鑑定、用地測量及び地形測量の実施	目標	不動産鑑定、用地測量及び地形測量の実施 ()	()	()	()	
		実績	不動産鑑定、用地測量及び地形測量の実施				
	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備 ・公有財産購入	目標	(2筆)	()	()	()	
実績		2筆					
達成状況説明	斎場御嶽周辺地取得のために民有地と国有地2筆(面積18,989㎡)の調整を行い、3月に公有地化した。それに伴い用地・地形測量委託業務、不動産鑑定を実施した。また、斎場御嶽周辺整備事業計画策定のために委託業務を実施して、学識者で構成する斎場御嶽周辺整備実施計画策定委員会を2回開催して、3月に計画を策定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備着手	目標	(0件)	(整備着手)	()	()	()
		実績		整備着手			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備事業着手により、周辺地が2筆(面積18,989㎡)公有地化された。また、斎場御嶽周辺整備実施計画が策定され、今後の事業展開につなげていくことが期待される。						

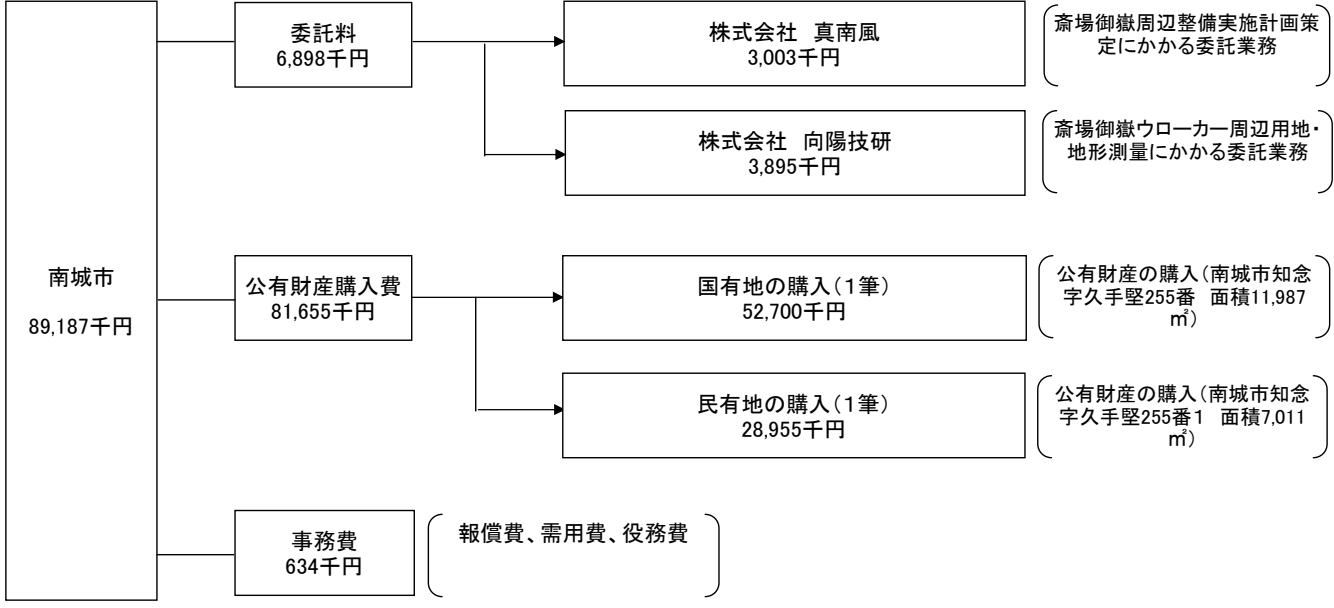
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	2000年に齋場御嶽が世界遺産に登録されてから、来訪者が年間3万人から43万人に増加した。この影響で、石畳が擦り減るなどの問題が発生したため、整備する必要がある。また、本事業で策定した「齋場御嶽周辺整備実施計画」にかかる現場調査や地形測量等で、ウローカー(※齋場御嶽に入る前に身を清めたとされる泉)が枯れていたたり、石畳参道や戦争遺跡が崩壊している箇所があるなど整備を要する箇所が見つかった。	平成24年度に策定した「齋場御嶽周辺整備実施計画」を踏まえ、遺構検出及び遺構測量、土質・地下水調査等を実施するとともに、有識者で構成する整備委員会を設置して改善策の検討等を行う。

今後の取り組み方針

世界遺産「齋場御嶽」の価値をさらに高めるため、計画に基づき参道やウローカー(※開得大君が齋場御嶽に入る前に身を清めたとされる泉)等、周辺整備を実施する。また、平和学習に活用してもらうために、太平洋戦争の戦跡を整備する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
89,187	89,187	71,349	17,838	0



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	—		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	南城ウェルネス機能拡張事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部署名	企画部 観光商工課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光客等の誘客促進を図るため、観光資源を活用した心身の再生(ウェルネス)を柱とした観光プログラムの実践及びNFCタグ等を活用した認証システム等を構築する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	18,622				
		(b)予算現額	18,622				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)前年度繰越額	-				
	A. 計(b+d)		18,622	0			
	B. 執行済額		18,622				
	うち交付金充当額		14,897				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明							
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	非接触IC等を活用した認証システムの構築	目標	非接触IC等を活用した認証システムの構築	()	()	()	()
		実績	非接触IC等を活用した認証システムの構築				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	非接触IC等を活用した認証システムを構築することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	非接触IC等を活用した認証システムの構築	目標	(-)	非接触IC等を活用した認証システムの構築	()	()	()
		実績		非接触IC等を活用した認証システムの構築			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	非接触IC等を活用した認証システムを構築することができた。					

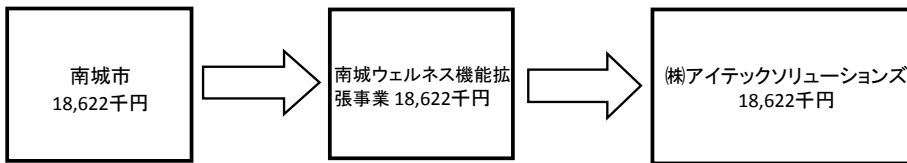
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>本事業が円滑に推進していくためには、市内のカフェやレストラン、体験施設などがなるべく多く参加し、利便性が高くなる必要があるが、これまでの観光情報サイトと違って、認証機器を実店舗に置く事への抵抗感や通信環境が必要なことから、参加事業所を集めるのに苦慮した。</p> <p>特に知念地区、玉城地区においては、ADSLや光といった有線で安定した通信サービスが提供されておらず、通信環境が不安定なことから、導入後にサービスが止まってしまっは困るという意見も複数あった。</p>	<p>先に導入した事業所と連携をとりながら、先行導入事例などを交えて新規導入事業所の開拓にあたる必要があると考えられる。</p>

今後の取り組み方針

今後は、参加事業所と協力して、内容を充実させるとともに、事業を市内外へ広く周知をする必要がある。また、利便性を向上させるため、ポイント制度の導入についても検討していく必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
18,622	18,622	14,897	3,725	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により選定しており、提案内容、企業組織、実績等を助案したうえで選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

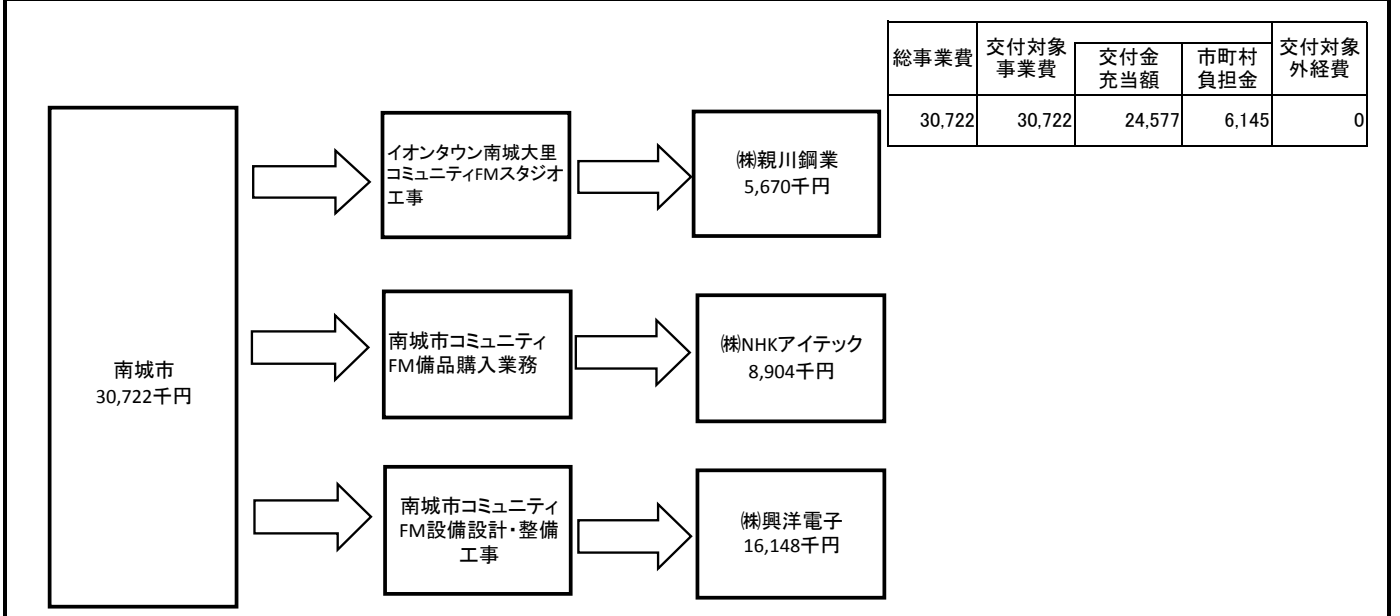
市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑧	第1次コミュニティFM放送施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	企画部 まちづくり推進課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	観光情報、市内のイベント情報、緊急時には災害情報等を提供することを目的にコミュニティFM放送に必要な演奏所及び送信所の整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		30,722				
			30,722				
			0				
			—				
			30,722	0			
	B. 執行済額		30,722				
	うち交付金充当額		24,577				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施したほか、活動目標、成果目標が達成できた状況を鑑みると適正に執行された。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	FMスタジオ内装工事及び放送機材の購入送信所、局舎の設計、工事	目標	(コミュニティFM放送施設整備)	()	()	()	()
		実績	コミュニティFM放送施設整備				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	コミュニティFM放送設備の整備(FMスタジオ内装工事及び放送機材の購入、送信所、局舎の設計、工事)を実施し、南城市コミュニティFM放送局「FMなんじょう」を開局することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	南城市コミュニティFM放送局の放送開始	目標	(—)	(南城市コミュニティFM放送局の開局)	()	()	()
		実績		南城市コミュニティFM放送局の開局			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	FM放送局「FMなんじょう」の開局により、観光情報、市内のイベント情報、災害情報等を提供する環境が整った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・南城市の地形的な問題による受信可能エリアの縮小 ・大型商業施設へのコミュニティFMスタジオ出店に伴い、工期や設計内容に制限があり整備に苦慮した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南城市内の放送受信可能エリアの拡大を目指し、第2次コミュニティFM放送施設整備事業を実施する。

今後の取り組み方針

南城市内の放送受信可能エリアが88%のため、南城市内の放送受信可能エリアの拡大を目指し、第2次コミュニティFM放送施設整備事業を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明	
	<input type="radio"/>	支出先の選定方法は妥当か。		<ul style="list-style-type: none"> ○請負事業者の選定は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。(1件は不落随意契約) ○コミュニティFM放送局の開局に必要な最低限度の経費について負担しており妥当であったと考えている。
	<input type="radio"/>	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	<input type="radio"/>	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	<input type="radio"/>	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨	準天頂衛星実証実験事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	企画部 政策調整課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	<p>観光振興を図るため、準天頂衛星の高精度位置情報を活用した、音声による観光案内アプリケーションの開発及び実証実験を行なう。</p> <p>※準天頂衛星システムは、日本で常に天頂付近に1機の衛星が見えるように、複数の軌道面にそれぞれ配置された衛星を組合せて利用する衛星システムで、これらの軌道は、軌道傾斜角(赤道面からの軌道面の傾き)を持って、地球の自転と同じ周期で地球を回っており、衛星が常に天頂方向にあるため、山やビル等に影響されず全国をほぼ100%カバーする、高精度の衛星測位サービスのこと。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計(b+d)		3,835				
			3,835				
			0				
			-				
			3,835	0			
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)		3,835				
			3,068				
			0				
			100.0%				
予算の状況の説明							
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	準天頂衛星実証実験の実施	目標	(実証実験の実施)	()	()	()	
		実績	実証実験の実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	<p>世界遺産である「斎場御嶽」において、観光客等の歩行に合わせて、自動的に音声案内が流れるスマートフォン用アプリケーションを開発した。音声案内は、準天頂衛星の高精度位置情報を活用し、ピンポイントの説明や、往路、復路で異なる説明を流すなど、まるで案内ガイドが同行しているような擬人的なサービス体験してもらい、アンケート調査を行うなど実証実験を実施した。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	準天頂衛星実証実験の実施	目標	()	(実証実験の実施)	()	()	()
		実績		実証実験の実施			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	<p>アプリケーションの開発及びアンケート調査の結果を踏まえ、新たな観光案内のあり方、活用方法等について検討を深めることができた。</p>					

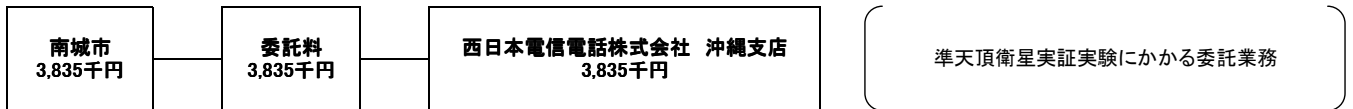
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	市の重要な観光拠点である「斎場御嶽」は、世界遺産であるため、表示板の設置等が制限されており、観光客等に十分な案内ができない状況にある。機器を活用した観光案内を行うことで価値を高めたいが、地理的条件による電波状況、スピーカーを備え付けたジャケットへの抵抗感など解決すべき課題がある。	地理的条件の変化に伴い、電波の受信状況が異なることから、これに対応したサービスを検討する必要がある。 また、ジャケット型ウェアラブルスピーカーについても、抵抗感を軽減し、受信状況を改善する必要がある。

今後の取り組み方針

今回の実験で、スマートフォンを使った音声案内アプリケーションの需要や有効性を確認することができた。しかし、今回制作したアプリケーションを実用に耐えうるものにするためには、試行錯誤を重ねる必要があるが、現時点では、打ち上げられた準天頂衛星が1機であり、受信用のモジュールも発展途上にあるため、準天頂衛星の動向を踏まえ、今後の観光振興に生かしたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,835	3,835	3,068	767	0



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、本市の既存アプリの構築業者を選定することで、時価に比して著しく有利な価格で締結することができ、随意契約で妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市
------	-----

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-10	デマンド交通導入検討業務	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部署名	企画部 政策調整課	事業実施(予定)年度 平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)

事業内容
滞在型観光を推進するため、「デマンド交通システム」を活用した検討業務を行い、実用化に向けた検証を行う。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	6,915				
	(b) 予算現額	6,915				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	6,915	0			
	B. 執行済額	6,825				
	うち交付金充当額	5,460				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	98.7%				
予算の状況の説明	不要額が90千円発生しているが、当初計画していた事業内容はすべて実施したほか、活動目標、成果目標が達成され、適正に執行された。					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		デマンド交通の運行実施計画(案)策定	目標 (運行実施計画(案)策定)	()	()
	実績	運行実施計画(案)策定			
			()	()	()
達成状況説明	デマンド運行実施計画(案)を策定するため、観光客や市民の移動実態についてアンケート調査を行うとともに、南城市の公共交通に関する課題整理を行った。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		デマンド交通の運行実施計画(案)策定	目標 ()	運行実施計画(案)策定 ()	()	()
		実績		運行実施計画(案)策定		
	【参考指標】	目標 ()	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	デマンド運行実施計画(案)を策定するため、観光客や市民の移動実態についてアンケート調査を行うとともに、南城市の公共交通に関する課題整理を行った。					

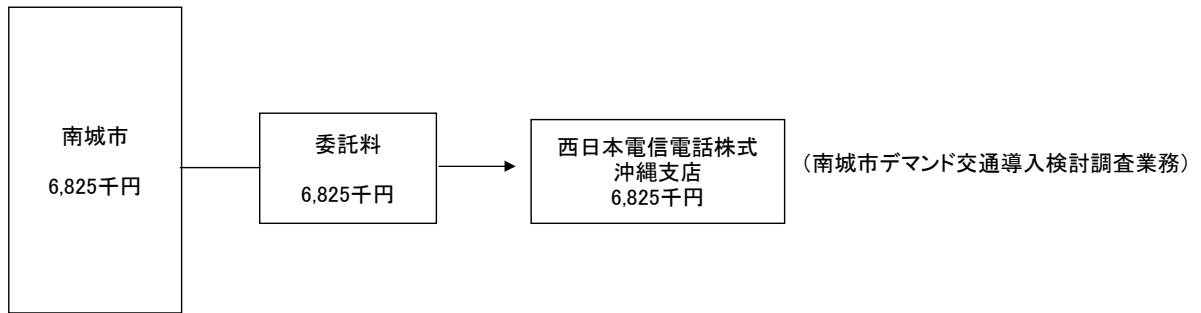
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本市の現状・課題(観光客、市民移動等をアンケート調査等により実施)の把握、県外のデマンド交通等の事例を研究、デマンド交通導入に向けた検討により、デマンド交通の運行実施計画(案)策定を行った。	平成25年度以降、デマンド運行実施計画(案)に基づき事業を実施したい。

今後の取り組み方針

平成25年度～平成27年度に運行管理システムの構築、実証実験(試験運行)の実施、関係機関との協議等を行い、平成28年度から本格運行を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,825	6,825	5,460	1,365	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘察した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南城市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	なんじょうハートプロジェクト推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第3章-3-(2)-イ 市場特性に対応した誘客活動の展開				
担当部署名	企画部 まちづくり推進課	事業実施（予定）年度 平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所 Ⅲ-1-(1)				
事業内容	地域資源を活かした南城市のイメージアップを図るため、南城市の地形である「ハート」を一体的に捉えたまちづくり、市キャラクター「なんじい」を活用したグッズ等による観光PR等を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,000				
		(b) 予算現額	10,000				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	10,000	0			
	B. 執行済額		9,969				
	うち交付金充当額		7,975				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		99.7%				
予算の状況の説明		不用額が31千円発生しているが、委託費の入れ残によるものである。当初計画していた事業内容はすべて実施したほか、活動目標、成果目標が達成できた状況を鑑みると適正に執行されたと考えている。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・商品パッケージの開発 ・PRグッズ等の制作及び配布 ・PRイベントの開催	目標	（ 3品目制作及び配布1回 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	3品目制作及び配布1回				
			目標	（ ）	（ ）	（ ）	
			実績				
達成状況説明	・「市のキャラクターである「なんじい」を活用した商品パッケージ（3品目）の開発を行った。 ・PRグッズ等の制作及び配布を実施した。 ・平成25年2月17日に那覇市国際通りで観光イベント「なんじい国際通りジャック」を開催した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	・商品パッケージの開発 ・PRグッズ等の制作及び配布 ・PRイベントの開催	目標	（ 0品目 ）	（ 3品目11,500個20,000人 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		3品目11,500個20,000人			
	【参考指標】		目標	（ 7回 ）	（ 22回 ）	（ ）	（ ）
	県内外の情報誌（メディア）等への掲載（出演回数）		実績		雑誌、アプリ、テレビ、新聞等		
	進捗状況説明	商品パッケージ（3品目）のデザインに南城市キャラクター「なんじい」を用いたことで南城市のPRが図られた。PRグッズ等の11,500個の制作及び配布を行った。国際通りで実施された観光イベントには、約20,000人が来場した。					

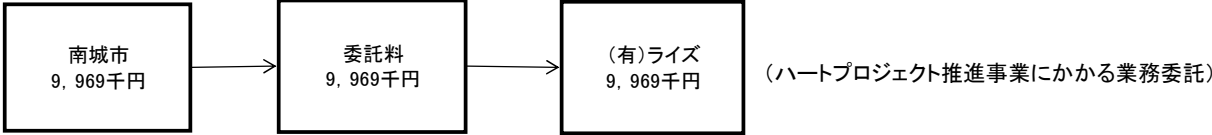
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	全国的なゆるキャラブームに沿って事業を推進したため、効果的なPR活動を行うことができた。引き続き、市民等との協働で事業を継続する必要がある。	「なんじょうハートプロジェクト」の運営主体として事業を継続していただけるよう、商工会、観光協会、民間事業社、一般市民などと連携を図る必要がある。

今後の取り組み方針

・観光協会、商工会、事業者、市民等で構成する市民サポーター集団「ハートのまち・なんじい隊」を設立し、企画立案段階から情報開示、情報交換を行う。
 ・今後は市民レベルで南城市を発信・活性化していけるような継続的な仕組みを構築する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
9,969	9,969	7,975	1,994	0



資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により選定しており、妥当であったと考えている。 ○パッケージ開発については、デザイン費と効果検証のためのパッケージ制作費のみを市で負担しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

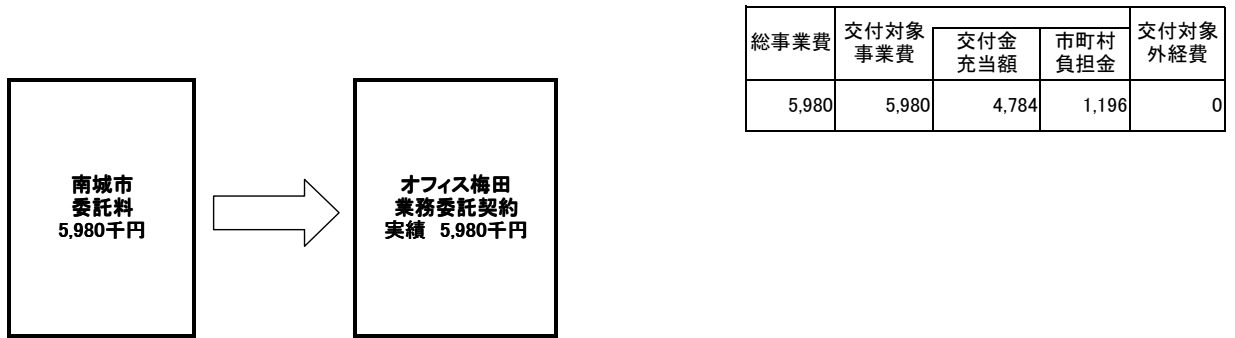
市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑫	なんじょう誘客対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	企画部 観光商工課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	南城市滞在型の誘客を促進するため、本市の持つ豊富なコンテンツ力に魅力あるストーリーを加え、地元での宿泊(ホテル・民泊)をしながら「なぞ解き」の旅行スケジュールを企画する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,000				
		(b) 予算現額	6,000				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	-				
	A. 計 (b+d)		6,000	0			
	B. 執行済額		5,980				
	うち交付金充当額		4,784				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		99.7%				
予算の状況の説明		不用額20千円は入札残である。当初計画していた事業内容についてはすべて実施したほか、活動目標、成果目標が達成できた状況を鑑みると適正に執行された。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・ミステリーツアーの開催	目標	(2回)	()	()	()	
		実績	2回				
	・アンケート調査の実施	目標	(調査の実施)	()	()	()	
		実績	調査の実施				
達成状況説明	平成25年3月16日(土)・17日(日)、参加者の申込定員を1回/50名として、ミステリーツアーin Nanjo 2013「南城市最後の日」と企画し2回開催した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	ミステリーツアーの参加者数	目標	()	(100名)	()	()	()
		実績		100名			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	募集定員100名(1回/50名)に対して、応募開始から20日で定員の100名に達した。その後の問い合わせについてはキャンセル待ちで対応した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・市外へ向けての誘客対策の実証実験を検証であったが、市民からの申込が多かったため、市民以外の申込を優先して市民向けに別枠を設けて対応した。 ・参加者への出題やコース設定等、ツアー企画をより工夫していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好評につきツアー回数及び定員の増や市の観光資源をさらに活用したルート設定等について検討する。

今後の取り組み方針

なんじょう誘客対策事業成果報告書(事業名:ミステリーツアーin Nanjo 2013)の内容を検証し今後の取り組みについて検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
5,980	5,980	4,784	1,196	0

資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	請負業者の選定は、南城市プロポーザル方式実施要綱により選定しており妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市
------	-----

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑬	お新下り(間得大君即位式等)再現事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア
担当部署名	企画部 観光商工課	事業実施(予定)年度 平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)

事業内容
世界遺産「斎場御嶽」は沖縄観光のパワースポットとして多くの観光客に親しまれています。魅力的な観光地づくりを促進するため、「お新下り」間得大君の即位式の一部再現を行う。

実施方法
 直接実施
 委託
 補助
 負担
 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	25,000				
	(b) 予算現額	25,000				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	-				
	A. 計 (b+d)	25,000				
	B. 執行済額	24,990				
	うち交付金充当額	19,992				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	不用額については、役務費(衣裳クリーニング)の残によるものである。当初計画していた事業内容についてはすべて実施し、活動目標、成果目標が達成できた状況を鑑みると適正に執行された。				

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		お新下り記録映像の作成 (全記録収録120分×3本) (編集済み記録映像80分×3本)	目標 (6本)	()	()	()
	実績	6本				
	お新下りリーフレット作成	目標 (2万部)	()	()	()	()
		実績	2万部			
達成状況説明	第2回南城市まつりにあわせて「お新下り(間得大君即位式等)」の舞台及び100人行列を開催した。(平成24年10月13日 於:南城市グスクロード公園) また、お新下りの模様を映像で記録するとともにリーフレットの作成等を行った。					

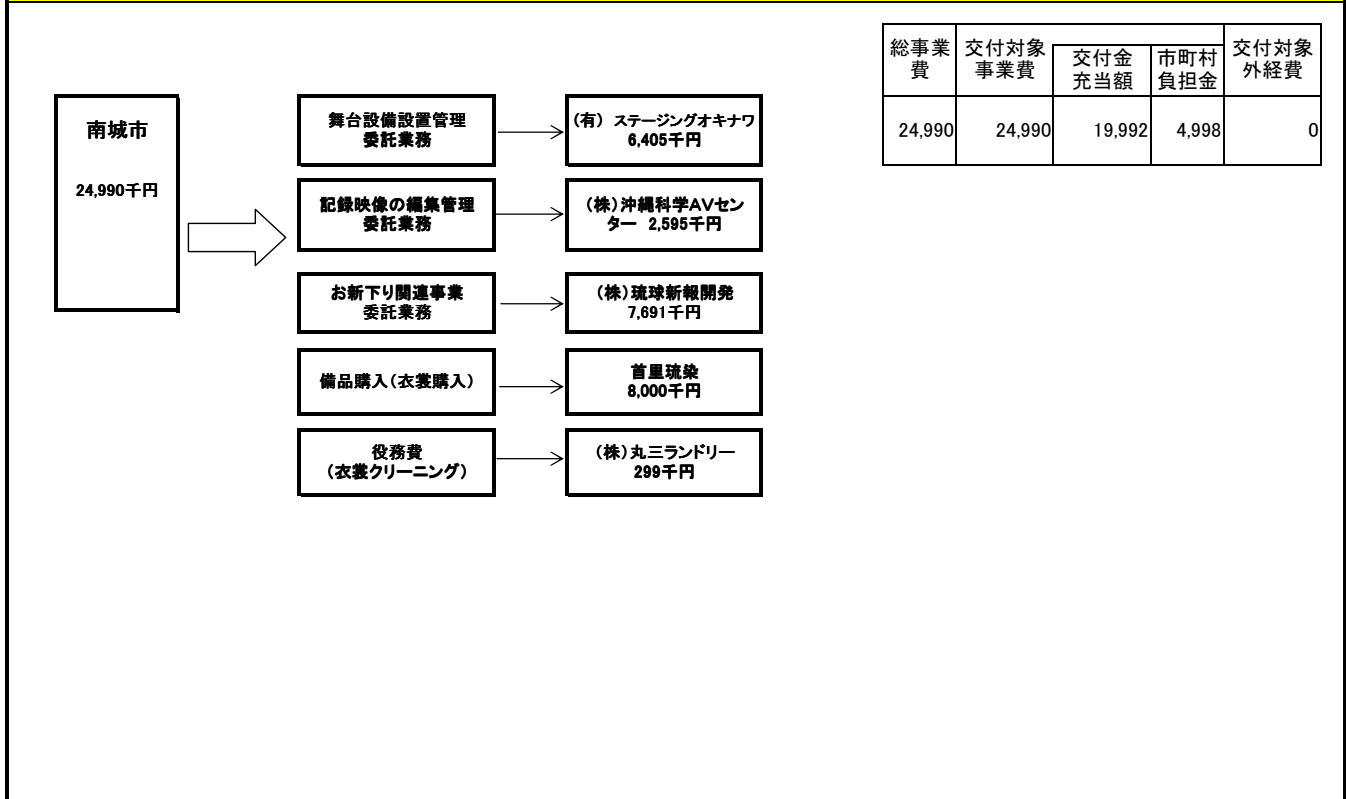
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
			お新下り記録映像の作成 (全記録収録120分×3本) (編集済み記録映像80分×3本)	(6本)	()	()	()
			実績	6本			
			お新下りリーフレット作成	目標 (2万部)	()	()	()
				実績	2万部		
進捗状況説明	第2回南城市まつりにあわせて「お新下り(間得大君即位式等)」の舞台及び100人行列を開催した。(平成24年10月13日 於:南城市グスクロード公園) また、お新下りの模様を映像で記録するとともにリーフレットの作成等を行った。」主催者発表来場者数6万人(13日・14日の両日)						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・100人行列を実施するにあたり、一般公募、イベントの告知の準備期間に時間を要した。 ・沖縄で初めての「お新下り」間得大君の即位式100人行に関する事業では、舞台演出と一般公募者(100人行列)の衣裳合わせ等、稽古に時間を要した。 ・台風時期の開催となり、また野外での開催は天候により延期又は中止の判断もあり得た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施については、天候など含め開催時期を決定する必要がある。 ・100人行列の実施については、一般公募に向けての情報発信を充分に行う必要がある。

今後の取り組み方針

「お新下り」を新たな観光資源として活用していくため、衣裳・備品等の貸出等を行う等、お新下りを活用した誘客対策事業については、今後も継続して企画実施するとともに映像やパンフレット等を用いて県内外にPRする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
24,990	24,990	19,992	4,998	0

資金の 使途の 流れ、 費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業の性質が競争入札に適しないことから、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき業者と随意契約したが、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑭	電動自転車による市内観光活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	企画部 観光商工課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	本市は世界遺産「斎場御嶽」をはじめ、歴史文化遺産が多いことから観光入域客も年々増加している。観光地の環境負荷軽減など、自動車に頼らない観光地づくりを促進するため、レンタサイクル実証実験を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	15,000				
		(b) 予算現額	15,000				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		15,000	0			
	B. 執行済額		14,990				
	うち交付金充当額		11,992				
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		99.9%				
予算の状況の説明		不用額10千円が発生しているが、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	レンタサイクル(電動自転車)実証実験の実施	目標	(3箇所(各10台))	()	()	()	
		実績	3箇所(各10台)				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	市内3箇所において45日間、レンタサイクル(電動自転車各10台)の実証実験を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	レンタサイクル利用者数	目標	()	(965名)	()	()	()
		実績		660名			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	実証実験の結果、レンタサイクル(電気自転車)の利用者数は660名であった。 ※目標値内訳：『1日(1人)×45日(実績)×30台×70%』+20台(エコスピ)=965名 70%:天候不良等を考慮					

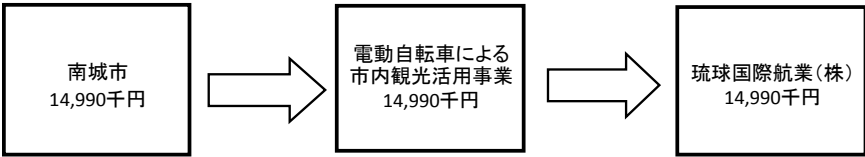
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・走行中や周遊コース外での利用者の安全確保及び南城市観光情報ナビアプリケーション(スマートフォンアプリ)の活用促進が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光サイン(誘導看板等)の整備及び車道や自転車道の管理で関係機関との連携が必要。また、ナビシステム活用に伴う通信環境整備が必要である。

今後の取り組み方針

南城市における滞在型観光を振興する観点から、レンタサイクル(電気自転車)が市内観光等の周遊手段の一つとして確立されるよう、南城市観光協会において今回の実証実験の結果を踏まえ、活用したい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
14,990	14,990	11,992	2,998	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○請負事業者の選定はプロポーザル方式により選定しており、妥当であったと考えている。 ○事業実施に伴う予算、費目・使途等は妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南城市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	尚巴志関連展開調査事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第三章-3-(2)-ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立				
担当部署名	教育部 文化課	事業実施（予定）年度 平成24～25年度	沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-1-(1)				
事業内容	観光客等の誘客を促進するため、琉球王国を興した尚巴志に関連する事業展開の可能性やその戦略についての調査研究を行い、尚巴志関連事業展開基本プランを確立する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,460				
		(b) 予算現額	5,460				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	5,460				
	B. 執行済額		5,460				
	うち交付金充当額		4,368				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	尚巴志関連事業の展開可能性調査の実施	目標	（可能性調査の実施）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績	可能性調査の実施				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	平成25年度のマスタープラン策定に向けて、市民ワークショップ(1回)や市役所職員で構成するクロスファンクション会議(2回)、検討委員会(1回)を開催するなど調査研究を重ね、平成25年3月に中間報告書を作成した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	尚巴志関連事業の展開可能性調査の実施	目標	（ ）	（可能性調査の実施）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		可能性調査の実施			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
	進捗状況説明	平成25年度のマスタープラン策定に向けて、市民ワークショップ(1回)や市役所職員で構成するクロスファンクション会議(2回)、検討委員会(1回)を開催するなど調査研究を重ね、平成25年3月に中間報告書を作成した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>マスタープラン策定に向けて、市民ワークショップや市役所職員で構成するクロスファンクション会議を開催し、これをうけ検討委員会で基本的な方針と行動計画について必要事項を審議・検討して、マスタープラン案を検討・承認する。</p> <p>H25年度では予定している市民ワークショップやクロスファンクション会議及び検討委員会において、H24年度に引き続きこれらの意見を集約していく必要がある。</p>	<p>H25年度末のマスタープラン策定及び次年度以降の事業実施に向けて、今年度予定している市民ワークショップやクロスファンクション会議及び検討委員会のそれぞれの開催回数や実施内容を再検討する。</p>

今後の取り組み方針

地元の英雄・尚巴志を人材育成や文化振興、まちづくり、観光振興等に活かしていくため、平成25年度に基本的な方針と行動計画を示した「尚巴志活用マスタープラン」を策定し、平成26年度以降に、マスタープランに基づく事業を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,460	5,460	4,368	1,092	0



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は公募型プロポーザル方式により、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○費目・使途については事業目的達成の観点から必要な物なのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-10	スポーツツーリズム推進事業					
担当部署名	教育部 教育総務課	事業実施（予定）年度 平成24年度					
		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 国際的な沖縄観光ブランドのアップ率					
		沖縄振興基本方針該当箇所					
事業内容	観光客等の誘客促進及び青少年の健全育成を図るため、南城市陸上競技場の天然芝の良質な状態を保持するための管理用機器を導入する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	15,399					
	(b) 予算現額	9,959					
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 5,440					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	9,959					
	B. 執行済額	9,345					
	うち交付金充当額	7,476					
	次年度繰越額	0					
	執行率（%）(B/A)	93.8%					
予算の状況の説明	・当初予算に対し、5,440千円の減となっているが、入札残が生じたため、減額したものである。当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
	天然芝管理用機械の導入	目標	(天然芝管理用機械の導入)	()	()	()	
		実績	天然芝管理用機械の導入				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	天然芝管理用機械を6台購入した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）	基準値（平成23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	天然芝管理用機械の導入	目標	(0台)	(天然芝管理用機械の導入)	()	()	()
		実績		天然芝管理用機械の導入			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	天然芝管理用機械(6台)を導入したことで、南城市陸上競技場の天然芝を良質な状態で管理することができ、サッカーチームの誘致につながった。					

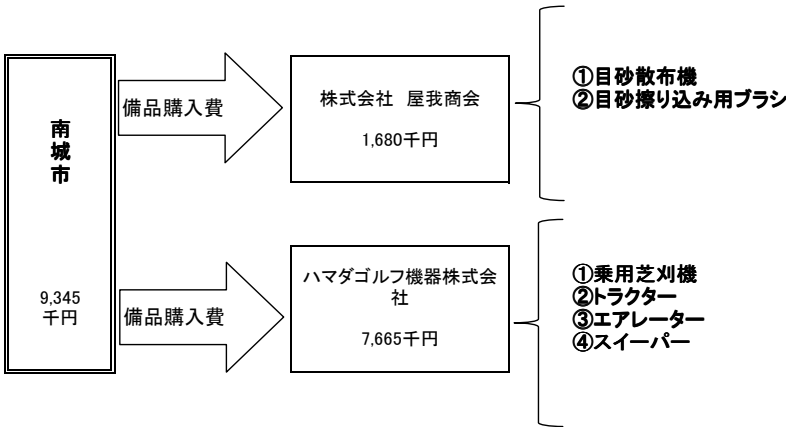
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①特殊な機械のため、素人では適切に機械を扱えない。 ②フィールド部分の透水性が乏しため、雨天後の芝管理、キャンプ時の練習に支障がでた。	①専門業者等から機械の扱い方、作業のタイミング等の技術提供を受ける。 ②暗渠排水工事を行う。

今後の取り組み方針

南城市陸上競技場の天然芝の良質な状態を保持するため専門的な技術を持つ業者と連携し、維持管理しながら芝生管理に精通した人材の育成を行う。また、透水性の乏しい芝生フィールドの排水設備整備を行い、スポーツキャンプ受入に適した施設整備を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
9,345	9,345	7,476	1,869	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○購入先は指名競争入札で最低価格を提示した業者であり、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	雇用サポートセンター就労支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-ア	
担当部署名	企画部 観光商工課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の創出・拡大と求職者支援 III-2	
事業内容	新たな雇用の機会を創設するため、就労を希望する市民を人材として登録し、人手不足に悩む農家や事務所等に人材情報を提供する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	782				
		(b) 予算現額	745				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 37				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		745	0			
	B. 執行済額		745				
	うち交付金充当額		596				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・不用額37千円が発生しているが、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑み、適正であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	雇用創出サポートセンター登録者数	目標	(100人)	()	()	()	
		実績	250人				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	雇用創出サポートセンター登録数が、目標の100人を上回り、250人の登録を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	雇用創出サポートセンター登録者数	目標	(100人)	(100人)	()	()	()
		実績		250人			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	雇用創出サポートセンター登録数が、目標の100人を上回り、250人の登録を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本市においても、市民の雇用・失業対策は喫緊の課題であり、本事業により市民の雇用機会の創出を推進し、市民の就労支援と事業所の人材不足を解消し、雇用促進を図る必要がある。	サポートセンター登録数は目標人数を上回っており市民のニーズは高まりつつあるが、本事業の認知度がまだ高くないため、市民、市内事業所等への周知が必要である。今後も、地域における雇用促進及び生産農家や事業所と未就業者のミスマッチ等を解消することで、市内の雇用機会創出を目指す。

今後の取り組み方針

雇用状況の改善に向けて、関係機関との連携しながら、再就職の相談に適切なアドバイス、情報提供等を継続して実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
745	745	596	149	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○就労支援に必要な人件費(勤務時間:1日当たり5.5時間)であり適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	平和発信プロジェクト事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(2)-ウ	
担当部署名	企画部 まちづくり推進課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	アジア・太平洋地域の安定と平和に資する平和・人権協力外交の展開 Ⅲ-12	
事業内容	戦後67年が経過し、沖縄戦の記憶が薄れている中、改めて市民1人ひとりが平和や命の大切さを考える機会として、南城市独自で制定した平和の日(8月10日)にコンサート、写真展を実施した。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	348				
		(b)予算現額	348				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)前年度繰越額	—				
		A. 計(b+d)	348	0			
	執行額	B. 執行済額	348				
		うち交付金充当額	278				
		次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明							
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	平和の日の制定(8月10日)	目標	(平和の日の制定)	()	()	()	
		実績	平和の日の制定				
	心ぼっかぼかコンサートの開催	目標	(1回)	()	()	()	
		実績	1回				
達成状況説明	南城市独自に策定した平和の日(8月10日)に、シュガーホールにおいて「音楽と写真でつながる心ぼっかぼかコンサートを開催した。						
成果目標(指標)及び進捗状況		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	心ぼっかぼかコンサート入場者数	目標	()	(400名)	()	()	()
		実績		400名			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	コンサートの入場者数は、目標の400名を達成した。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	市内唯一の音楽ホールである「シュガーホール」において、「平和」をテーマとした心あたたまるコンサートを開催した。市内の子供から大人までが出演し、また多くの観客も一緒にコンサートを盛り上げ、あらためて「身近なしあわせ」「心の平和」について考えることができた。また、入場料の一部を義援金として募金することで、東日本大震災の悲しい出来事についても再度考える機会となり、「環境への畏敬」の気持ちも持つことができた。	多くの人が平和について考えることができたため特に改善すべきところはありません。
	今後の取り組み方針	
市民が平和や命の大切さを考える機会となるようコンサートを継続して開催したい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	348	348	278	70	0
<pre> graph LR A[南城市 348千円] --> B[報償費 300千円] A --> C[消耗品費 48千円] B --- D["(10万円 × 3名)"] C --- E["(横断幕代 6,000円 × 8本)"] </pre>					

資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	戦没者追悼慰霊祭事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(2)-ウ	
担当部署名	福祉部 社会福祉課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	アジア・太平洋地域の安定と平和に資する平和・人権協力外交の展開		
事業内容	恒久平和の誓いを発信するため、本市では、合併前の旧町村単位で、慰霊祭が行われている。近年は参加する遺族の高齢化や月日の経過とともに小規模化しつつあるため、慰霊碑を1箇所整理・統合し、市一円の大規模な慰霊祭を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		633				
			633				
			0				
			－				
			633	0			
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		630				
			480				
			0				
		執行率(%) (B/A)	99.5%				
予算の状況の説明	不用額が3千円発生しているが、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	慰霊碑の整理・統合(3箇所→1箇所)	目標	(1箇所)	()	()	()	
		実績	1箇所				
	大規模慰霊祭の開催	目標	(大規模慰霊祭の開催)	()	()	()	
		実績	大規模慰霊祭の開催				
達成状況説明	市内3箇所に点在する慰霊碑を1箇所に整理・統合した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	慰霊碑の整理・統合(3箇所→1箇所)	目標	(3箇所)	(1箇所)	()	()	()
		実績		1箇所			
	大規模慰霊祭の開催	目標	(ー)	(大規模慰霊祭の開催)	()	()	()
		実績		大規模慰霊祭の開催			
進捗状況説明	市内3箇所に点在する慰霊碑を1箇所に整理・統合した。これまで、旧町村単位で開催していた慰霊祭を、1箇所にまとめて開催することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>これまで旧町村単位で実施していた慰霊祭を、合同で一箇所開催として実施することで市の一体感を高めることができた。それにより高齢化している遺族連合会の負担も軽減され、現状での課題は特にない。</p>	<p>一箇所で慰霊祭を実施することができるので、改善は特にない。</p>
今後の取り組み方針		
<p>遺族の高齢化を踏まえ、遺族連合会と連携を図りながら慰霊祭を引き続き開催したい。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	630	630	480	150	0
<pre> graph LR A[南城市 630千円] --> B[㈱照屋土建 630千円] B --> C[戦没者追悼慰霊碑解体工事] </pre>					

資金の流 れ、費目・ 点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先の選定については、130万円以内の工事請負であるため、南城市契約規則第33条に基づく随意契約を行っており、妥当である。 ○費目・使途については支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南城市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	さとうきび優良種苗安定確保事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部課名	産業建設部 産業振興課	事業実施（予定）年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	沖縄県の基幹作物であるさとうきびについては、平成6年度からの品質取引制度の導入に伴い多収性品種から高糖性品種への転換が推進されている。安定した農家所得の向上、さとうきびの生産向上を図るため、優良品種作付けの普及を推進する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		3,750				
			3,750				
			0				
			－				
			3,750	0			
	B. 執行済額		3,750				
	うち交付金充当額		3,000				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明							
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	採苗圃設置面積 現状250アール→目標300アール	目標	(300a)	()	()	()	
		実績	250a				
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	南城市のさとうきび農家に採苗圃の設置を委託し、優良種苗を増殖・配布することができた。平成24年度の採苗圃設置委託面積は春植え200アール、夏植え50アールの合計250アールである。平成24年度は予算内で250アールしか設置できず、また、農家の希望に対応した品種構成ができず配布割当率にばらつきがあった。平成25年度から予算を50アール分増額し、関係機関と調整して品種の設定を行っていく。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
	さとうきび優良種苗植付面積（アール）	目標	(2,204a)	(1,780a)	()	()	(2,040a)
		実績		1,448a			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	平成24年度は台風連続襲来により苗の状態が悪く、春植用種苗は948アール分（目標1080アール）しか配布できなかった。これから配布する夏植用種苗は台風の影響を受けていないため、予定通り500アール分配布できるよう管理してもらう。平成24年度も前年に引き続き大不作となってしまったが、優良種苗の配布により農家の植付けを支援し、新品種・優良種苗の普及促進を図ることができた。						

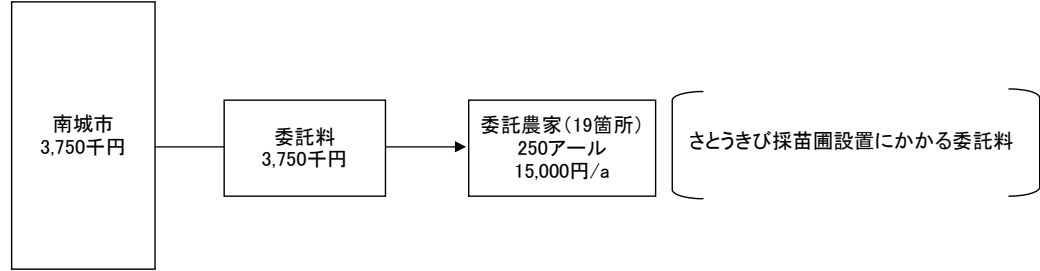
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①自然災害により苗の状態が悪い ②原苗圃の品種・面積等の希望が通らず(自然災害による苗不足等)、計画通りに種苗を普及することが難しい。 ③種苗配布期間・場所等を農家負担が少なくなるように調整しているが、高齢の農家も多く、負担をかけることがある。また、配布時期が集中すると生産法人への植付委託が一時に集中する。 ④種苗配布は1~2週間期間を設けて農家が適期に植え付けできるようにしているが、その間ずっと圃場を管理できないため、後から来る農家の苗がなくなってしまう。 ⑤委託農家によって圃場管理に差がある。 ⑥農家希望に対しての割当率が50%程度を目指す。(割当率が低いと農家のやる気をなくしてしまい、高すぎると補助なしでは自立できなくなる。)	①台風に備えての高培土や台風後のかん水、土寄せ等による被害軽減 ②県への要望。 ③受取希望日欄の追加等。 ④苗圃拡大により苗の争奪を軽減する。 ⑤圃場見回り。委託仕様書改善。 ⑥苗圃拡大。品種構成を検討し、農家需要に合わせて苗圃を設置する。また南城市が奨励していく品種も示していく。

今後の取り組み方針

平成25年度より委託面積を50アール拡大することにより、農家要望に近づけ、余裕をもって配布することを目指す。また、圃場管理の委託仕様書や検査チェック表等を作成し、苗質の向上と均一化を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,750	3,000	3,000	750	0



資金の用途の流れ、点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託農家は、南城市さとうきび生産組合の組合長より候補を挙げてもらい、その中から経営規模・生産実績・知識を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について委託仕様書との照合及び生育調査の結果、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	農業生産体制強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-カ	
担当部署名	産業建設部 田園整備課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	農業生産物の生産体制の強化を図るうえで、作物の品質保持は欠かせない要素である。作物の粉塵による生育不良や日照量低下の解消、大雨時の路盤の流出した後の凹凸による生産物の荷崩れを防止する為、既設の簡易農道にアスファルト舗装を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		20,000				
			20,000				
			0				
			—				
			20,000	0			
	B. 執行済額		20,000				
	うち交付金充当額		16,000				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		100%執行である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	農道舗装	目標	(L=1200m L=1200m)	()	()	()	
		実績	L=1193m (L=1193m)				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	ほぼ目標どおり農道舗装を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	農道舗装	目標	(0m)	(1200m)	()	()	()
		実績		1193m			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	農道舗装を実施したことにより、大雨時の冠水被害、粉塵被害が軽減され、出荷時の荷崩れによる農作物の傷み等が減少することが期待される。					

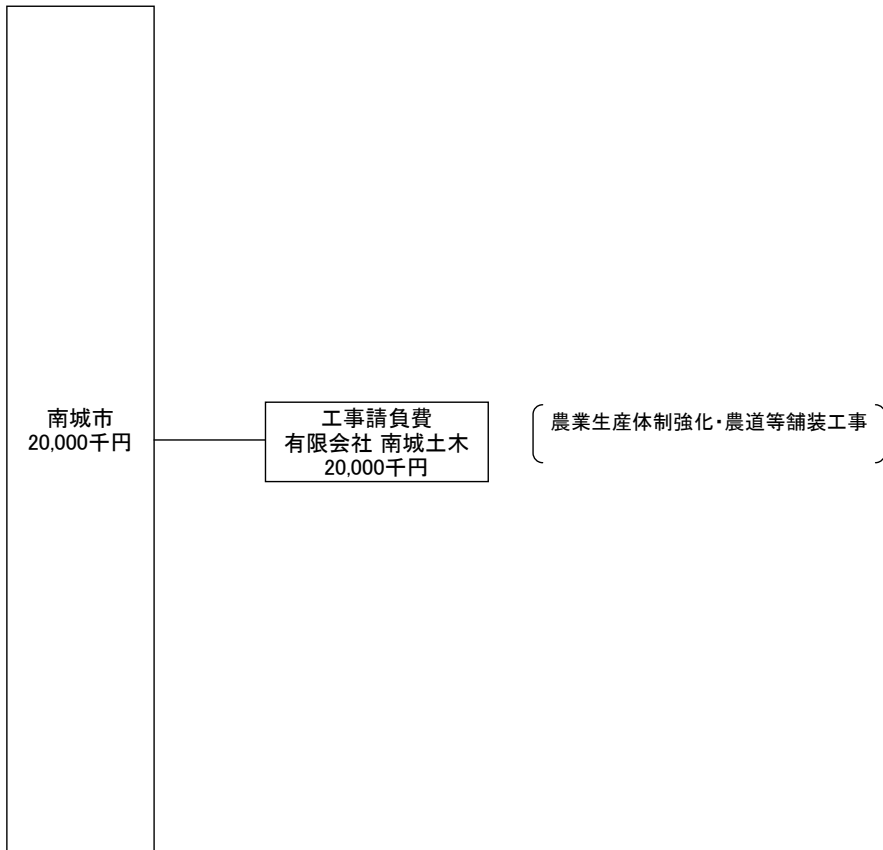
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	農道の管理は路盤を転圧するオペレータ、砂利敷きや草刈を行う受益者の確保に時間を要し、農産物出荷間際まで道路の凹凸補修が後手となっていた。また、排水路に堆積した砂利や土砂の泥上げが定期的になされてなく、畑の冠水被害の原因になっていたのが現状であった。	アスファルト舗設後、農道沿いの受益者の意識も変わり雑草の管理、排水路の清掃等も行うようになった。今後、大雨時の冠水被害が無くなることが期待できる。また、農産物の荷崩れによる傷みが無くなることから、生産性の向上につながり、農家の増収も期待できる。

今後の取り組み方針

土地改良事業で造成された農道について、平成25年度から農業基盤整備促進事業により農道整備が可能になったことから、今後は、代替事業による整備で実施していきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
20,000	20,000	16,000	4,000	0



資金の流 れ、費目 ・ 点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札により業者を選定しており妥当である。 ○費目・用途については設計図書に基づき、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑤	漁港巻上機・施設機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-カ	
担当部署名	産業建設部 産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備		
事業内容	水産業の振興を促進するため、巻上機施設の機能強化事業を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,828				
		(b) 予算現額	13,828				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	13,828	0			
	B. 執行済額		13,828				
	うち交付金充当額		11,062				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明							
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	巻上機施設設置件数(志喜屋漁港、久高漁港)	目標	(2件)	()	()	()	
		実績	2件				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	志喜屋漁港及び久高漁港への巻上機施設の設置について補助した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	志喜屋・久高上下架可能漁船の台数	目標	()	(11隻)	()	()	()
		実績		11隻			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	巻上機施設を設置し台風襲来時における大型船の陸揚げ及び補修等が可能になった。					

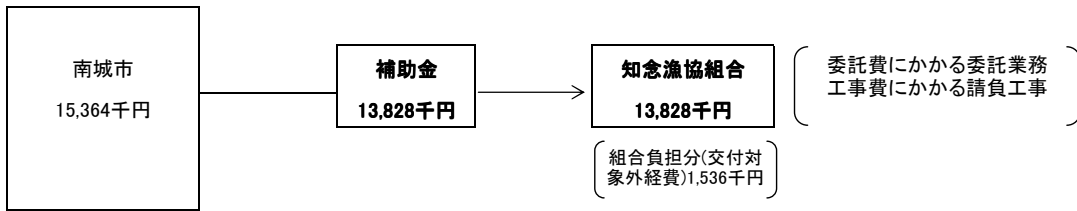
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	志喜屋漁港、久高漁港に巻き上げ機を設置し、台風襲来時における大型船の陸揚げ及び補修等が可能となり、水産業振興を促進する環境を整備することができた。	当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標を達成し、事業を計画どおり終了することができた。

今後の取り組み方針

今後は、漁協において、巻き上げ機施設の運用及び適正管理を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
15,364	13,828	11,062	2,766	1,536



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	漁協負担分を除く総事業費の9割について、市から知念漁協に補助金を交付した。また、漁協から業者への委託料及び工事請負費についても適正に支出されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	地域防災対策強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部署名	総務部 総務課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)	
事業内容	防災組織、地域防災リーダーの育成を図るため、地域住民による防災活動を実施する。また、地域によって異なる災害を想定した避難訓練、防災知識の普及啓発、防災資機材の整備を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	750				
		(b) 予算現額	750				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		750	0			
	B. 執行済額		57				
	うち交付金充当額		45				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		7.6%				
予算の状況の説明		防災組織結成に向け各自治会へ働きかけたが、各自治会の取組体制が鈍く組織結成がされなかった。防災訓練についても意識の高い自治会は積極的に取り組んだが当初見込みよりは少なかった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	1団体で、組織結成に向けた防災訓練の開催	目標	(1団体)	()	()	()	
		実績	2団体				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	目標を上回る2団体で防災訓練が実施された。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	1団体で、組織結成に向けた防災訓練の開催	目標	()	(1団体)	()	()	()
		実績		2団体			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	目標を上回る2団体で防災訓練が実施された。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	防災組織結成に向けての取り組み説明の充実。 防災訓練の積極的な開催への説明、連携。	防災組織結成や防災訓練へ向けての趣旨や主体等具体的な取り組み説明を盛り込み各自治会に対し積極的にかかわりをもって地道な連携体制が必要である。

今後の取り組み方針

区長会などを通じて防災組織の勉強会、研修会(講演会)を開き、結成組織の重要性をアピールする取り組みを積極的に行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
57	57	45	12	0

南城市
57千円

→

防災組織結成自治会・防災訓練実施自治会へ補助金交付 57千円

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について実績報告書等により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	災害に強いまちづくり推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部署名	総務部 総務課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)	
事業内容	安心・安全の確保及び災害に強いまちづくりの実現を図るため、また被災者の長期避難生活を想定した非常用食料品等の整備を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,505				
		(b) 予算現額	1,505				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		1,505	0			
	B. 執行済額		1,505				
	うち交付金充当額		1,204				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	海拔表示板の設置	目標	(200か所)	()	()	()	
		実績	200か所				
	備蓄食料の整備	目標	(660食)	()	()	()	
		実績	660食				
達成状況説明	海拔表示板(海岸線沿い)及び備蓄食糧について、目標どおり整備することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	海拔表示板の設置(200箇所)	目標	()	(200か所)	()	()	()
		実績		200か所			
	備蓄食料の整備(660食)	目標	()	(660食)	()	()	()
		実績		660食			
	進捗状況説明	海拔表示板(海岸線沿い)及び備蓄食糧について、目標どおり整備することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	市内の海岸線沿いに海拔表示の設置を行ったが市内内陸部においても設置について検討事項が発生した。	海拔表示設置については、市内の海岸線沿いのみならず、内陸部にも設置し、全市民、観光客等に周知することが最終目標として事業に取り組む。

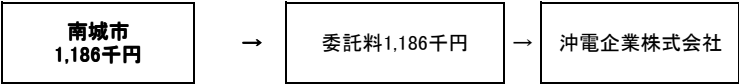
今後の取り組み方針

市内全域に海拔表示設置及びまた、防災計画に基づく食糧備蓄について継続して取り組む。

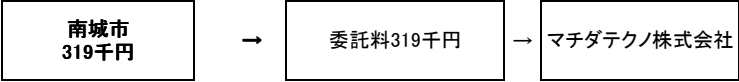
資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,505	1,505	1,204	301	0

海拔表示



備蓄食糧



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	海拔表示については入札をし、完了報告のもと適正に支出した。備蓄食糧の関しても納品確認後適正に支出した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-③	台風・大雨浸水被害対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部署名	産業建設部 都市建設課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)	
事業内容	災害に強いまちづくりの実現を図るため、地域の排水路における雨水の流入・流出ルートを確認し、適切な排水路整備を計画する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	18,375				
		(b) 予算現額	18,375				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		18,375	0			
	B. 執行済額		18,375				
	うち交付金充当額		14,700				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明							
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	佐敷地区雨水流域調査	目標	(佐敷地区調査)	()	()	()	
		実績	佐敷地区調査				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	・佐敷地区内における雨水の流入・流出ルートの調査結果により、浸水被害の原因究明により、適切な排水路の整備方針・整備計画を立てることが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	佐敷地区雨水流域調査	目標	(—)	(佐敷地区調査)	()	()	()
		実績		佐敷地区調査			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・佐敷地区内における雨水の流入・流出ルートの調査結果により、浸水被害の原因究明により、適切な排水路の整備方針・整備計画を立てることが出来た。					

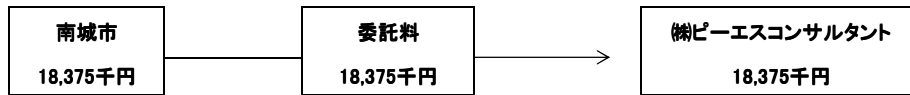
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・雨水ルートの調査による、浸水被害の究明ができた。	・調査結果に基づいた、排水整備計画の立案。

今後の取り組み方針

・平成24年度において、佐敷地域内の雨水流域調査を終え25年度は、西部地区の調査、そして最終年度の26年度におい東部地区の調査を行う。市内全域の流域調査の完了後において、整備検討委員会を開催し、排水整備の基本・実施計画を立案し、改修整備を随時行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
18,375	18,375	14,700	3,675	0



資金の流 れ、費目 の点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者は指名競争入札により適正に契約されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南城市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-④	人にやさしいなんじょう情報マップ事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 第三章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化				
担当部署名	総務部 総務課	事業実施（予定）年度	平成24年度				
事業内容	災害が発生した場合の住民や観光客への安心安全を確保するため、なんじょう情報マップを作成する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	10,000					
	(b) 予算現額	10,000					
	(c) 増減額 (b-a)	0					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	10,000	0				
	B. 執行済額	9,996					
	うち交付金充当額	7,996					
	次年度繰越額	0					
	執行率（％）(B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	不用額が4千円発生しているが、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	情報マップの作成17000冊 中学校区毎マップ作成5,400枚 市HP及びGISでのデータの活用	目標	情報マップ17,000冊 校区マップ5,400枚 データの活用	()	()	()	()
		実績	情報マップ17,000冊 校区マップ5,400枚 データの活用				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	活動目標（指標）を達成することができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	情報マップの作成17000冊 中学校区毎マップ作成5,400枚 市HP及びGISでのデータの活用	目標	()	情報マップ17,000冊 校区マップ5,400枚 データの活用	()	()	()
		実績		情報マップ17,000冊 校区マップ5,400枚 データの活用			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	成果目標（指標）を達成することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	情報マップ作成に至っては、市内各土砂災害危険箇所等についても地図に表示することにより周知することができている。また各小中学校においても地域情報の聴取を行いマップに危険箇所を載せることにより防災教育にも役立てる目的が達成されている。	情報マップが広く住民に活用、周知をしていき、今後避難路やあらたな避難所の検討を住民参加で検討できる環境づくりに活かしていきたい。

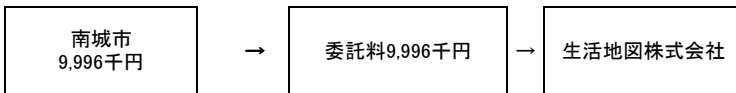
今後の取り組み方針

市内各世帯及び市内小中学校全生徒に対し情報マップ及び校区毎の安全マップを配布する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
9,996	9,996	7,996	2,000	0

なんじょう情報マップ



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	プロポーザル方式を実施し、事業完了報告のもと適正に支出した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	

市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-④	鶏糞バイオマス発電導入調査事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-イ	
担当部署名	企画部 政策調整課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	クリーンエネルギーの推進	
事業内容	環境に優しい南城市のまちづくりを推進するため、鶏糞バイオマス等を利用した発電を視野に入れ、更なる利用方法等の導入調査事業を実施する。南城市および周辺に於ける鶏糞等のバイオマスの種類と賦存量の調査を実施するとともに、その調査結果を踏まえた最適な発電方法や発電設備規模を検討し、併せて冬季における発電時の余熱利用を考える。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		6,300				
			6,300				
			0				
			—				
			6,300	0			
	B. 執行済額		6,109				
	うち交付金充当額		4,886				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		97.0%				
予算の状況の説明		・不用額191千円は、外部有識者への外注費が不要となった為である。当初計画していた事業内容・事業目的は達成できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	鶏糞バイオマス発電等調査の実施	目標	(調査の実施)	()	()	()	
		実績	調査の実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	南城市および周辺に於ける鶏糞等のバイオマスの種類と賦存量の調査を実施し、バイオマス発電の事業性評価や事業の継続性・持続性の検討を実施できた。その調査結果を踏まえた最適な発電方法や発電設備規模を検討し、併せて冬季における発電時の余熱利用を考慮することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	鶏糞バイオマス発電等調査の実施	目標	()	(調査の実施)	()	()	()
		実績		調査の実施			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	南城市および周辺に於ける鶏糞等のバイオマスの種類と賦存量の調査を実施するとともに、その調査結果を踏まえた最適な発電方法や発電設備規模を検討し、併せて冬季における発電時の余熱利用を考慮された。発電事業の事業性評価や、事業の持続性・継続性についても検討することができ、その中で事業のリスク要因分析、リスク軽減策の検討まで行うことができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	賦存量調査は、数件の畜産農家へのヒアリング内容を基に算出した推計値であり、発電事業の実施を判断するデータとして不十分である。また、発電事業を開始するには、環境対策や建設用地の選定、住民説明会の開催等の課題がある。	実現可能性を把握するため、畜産農家を対象にヒアリング及びアンケート調査を実施する必要がある。また、原料となる糞尿の利用可能性をより正確に把握し、将来推計を立てることにより、現実に即した発電規模や発電方式を決定することができる。また、円滑な事業導入のためには、環境対策や建設用地の選定、周辺住民への説明会の開催等についても取り組む必要がある。

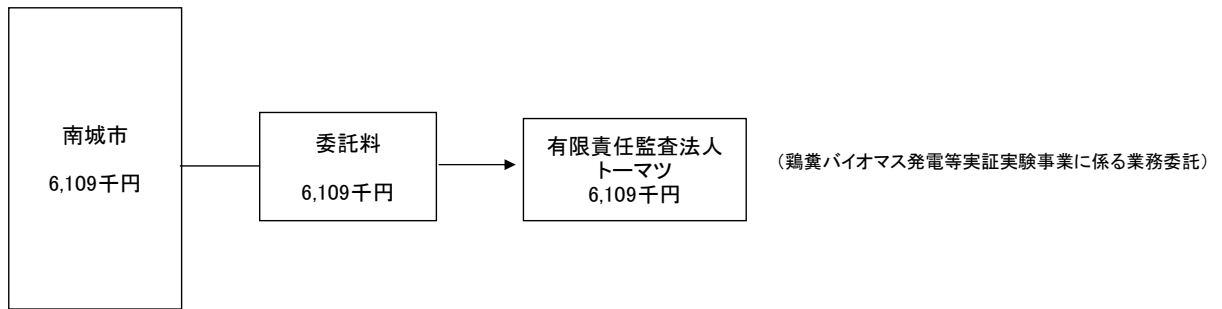
今後の取り組み方針

今回調査した本市および周辺市町のデータを県に提供し、県で積極的に広域で取り組んで頂くよう要請した。県の動向を踏まえ、今後の取り組み方針を決定したい。

本市で実施する場合には、民間発電事業者を選定し、既存の補助メニューを活用した発電事業に取り組んでもらう。その事業化のため、建設用地の選定や住民説明会の開催について民間事業者と連携して取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
6,109	6,109	4,886	1,223	0



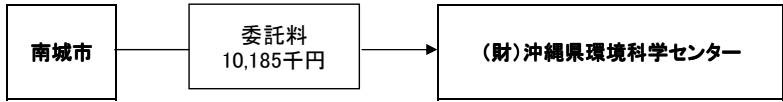
資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により、提案内容、企業組織、実績等を勘案したうえで選定しており、妥当であったと考えている。 ○業務実施計画書に基づく必要経費について支出しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南城市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-⑥	畜産悪臭対策事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第3章-1-(1)-イ				
担当部署名	産業建設部 産業振興課	事業実施（予定）年度 平成24年度	陸域・水辺環境の保全 III-10-(1)				
事業内容	環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、市内3箇所の豚舎等で、水質改変装置を設置し、臭気濃度と臭気指数及び畜産業に関連する特定悪臭物質の成分現況調査・分析等のモニタリング調査を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,185				
		(b) 予算現額	10,185				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	10,185	0			
	B. 執行済額		10,185				
	うち交付金充当額		8,148				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明							
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	臭気濃度と臭気指数及び畜産業に関連する特定悪臭物質の成分現況調査・分析等のモニタリング調査を実施（3地点 8項目）	目標	（ 3地点、8項目 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	3地点、8項目				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	市内3箇所の豚舎等で水質改変装置を設置し、臭気濃度と臭気指数及び畜産業に関連する特定悪臭物質の成分現況調査・分析等のモニタリング調査を委託実施し、3地点、8項目の報告を受け、活動目標を達成できた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	臭気濃度と臭気指数及び畜産業に関連する特定悪臭物質の成分現況調査・分析等のモニタリング調査を実施（3地点 8項目）	目標	（ - ）	（ 3地点 8項目 ）	（ ）	（ ）	（ - ）
		実績		3地点 8項目			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
	進捗状況説明	市内3箇所の豚舎等で水質改変装置を設置し、臭気濃度と臭気指数及び畜産業に関連する特定悪臭物質の成分現況調査・分析等のモニタリング調査を委託実施し、3地点、8項目の報告を受け、活動目標を達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	水質改変装置を3地点に設置し、臭気を軽減させる効果の有無について、合計6回調査分析を行った。水質改変装置を設置したことによる臭気軽減の明確な効果は得られなかったが、豚舎からの悪臭に対する課題解決を図るため、他の臭気軽減の方法等も含め、今後も検証していく必要がある。	今回調査結果が得られなかった夏場に設置し、豚舎での効果の検証や、他の臭気軽減方法も含め、今後も検証していく必要がある。
今後の取り組み方針		
5地点に水質改変装置を設置し、夏場やより長期間の効果の検証を独自に行っていくとともに、他の悪臭低減方法も模索する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
10,185	10,185	8,148	2,037	0



委託業務内容
 ・水質改変装置設置
 ・サンプリング
 ・データ整理、解析
 ・報告書作成

資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札により適正に業者選定を行った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-⑦	環境浄化エコリサイクル事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-ア	
担当部課名	産業建設部 産業振興課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	3Rの推進 Ⅲ-10-(1)		
事業内容	環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、市内で回収した伐採草木及び市内食品工場等から排出される生ごみを利用した腐葉土の生産及び販売に取り組む。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	6,017					
	(b) 予算現額	6,017					
	(c) 増減額 (b-a)	0					
	(d) 前年度繰越額	-					
	A. 計 (b+d)	6,017	0				
	B. 執行済額	5,880					
	うち交付金充当額	4,704					
	次年度繰越額	0					
	執行率（%）(B/A)	97.7%					
予算の状況の説明	当初予算より137千円の不用額が発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	ホイルローダー1台 自動計量機付袋詰機1台	目標	(ホイルローダー1台 袋詰機1台)	()	()	()	
		実績	ホイルローダー1台 袋詰機1台				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	ホイルローダー1台、自動計量機付袋詰機1台を購入した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）	基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（25年度）	
	ホイルローダー1台 自動計量機付袋詰機1台	目標	(0台)	(ホイルローダー1台 袋詰機1台)	()	()	()
		実績		ホイルローダー1台 袋詰機1台			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	腐葉土の精算販売に必要な機材（ホイルローダー1台、自動計量器月袋詰機1台）を購入し、グリーンエコセンターに貸与した。					

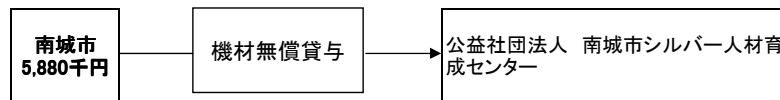
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	生ごみ、家庭ごみの収集方法の確立及び、ごみ減量化に対する市民の意識向上が必要である。	生活環境課、産業振興課及びシルバー人材センターの連携を強化し、循環型環境事業の実施等、ごみの減量化を推進する取り組みが必要がある。

今後の取り組み方針

グリーンエコセンターにおいて、伐採等により生じた草木を生ごみや堆肥等と混ぜ合わせて腐葉土を生産・販売し、循環型環境事業の実現と可燃ごみの減量化を目指す。関係機関の連携強化により、特定の公共機関だけでなく各家庭等からも生ごみ等を回収し、事業拡大を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
5,880	5,880	4,704	1,176	0



機材購入(5,880千円)
・ホイールローダー
・自動計量機付袋詰機

活動内容
・草木、生ごみ等の回収
・腐葉土生産、加工、販売

資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	指名競争入札により適正に業者選定を行った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市
------	-----

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-①	英語コーディネーター配置事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア
担当部署名	教育部 教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24年度	国際社会、情報社会に対応した教育の推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容
国際性豊かな人材を育成するため、外国人や英会話能力の優れた講師を教育委員会に配置し、英語教諭及びALT等への授業改善や、小学校において英語の授業を実施する。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	1,158				
	(b) 予算現額	1,210				
	(c) 増減額 (b-a)	52				
	(d) 前年度繰越額	-				
	A. 計 (b+d)	1,210	0			
	B. 執行済額	1,210				
	うち交付金充当額	967				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明		英語授業の質の向上を図るため、勤務日数を増やし、当初予算から賃金を52,000円増額補正した。				

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		英語コーディネーター配置数(市教育委員会)	目標 (1人)	()	()	()
	実績	1人				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	外国人や英会話能力の優れた講師を教育委員会に配置し、英語教諭及びALT等への授業改善や、小学校において英語の授業を実施することができた。					

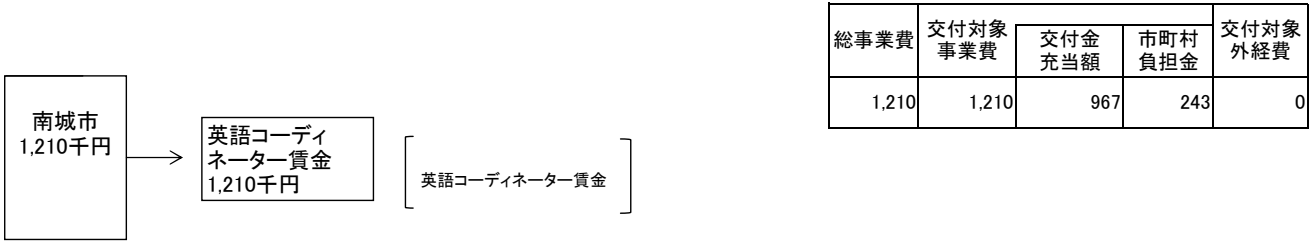
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		英語コーディネーター配置数(市教育委員会)	目標 (1人)	(1人)	()	()
		実績		1人		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	外国人や英会話能力の優れた講師を教育委員会に配置し、英語教諭及びALT等への授業改善や、小学校において英語の授業を実施することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本市の小学校における英語活動は、学級担任とALT等によるチームティーチングが基本である。しかし、学級担任やALT等がそれぞれの役割を把握していないことが多く、活動内容がぶれたり、児童が困惑する場面があった。英語コーディネーターが授業を見学し、指導・助言を行うことで、英語授業の質が向上した。(英語コーディネーターは、ALTに代わり一部の学校で児童へ直接指導を行う場合もある。)	より質の高い授業を行うため、授業の事前打ち合わせに英語コーディネーターを同席させ、英会話が不十分な学級担任と日本語会話が不十分なALT等との間のコミュニケーションをサポートする必要がある。

今後の取り組み方針

平成25年度においても市教育委員会に英語コーディネーターを1名配置したい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○英語コーディネーターについて、南城市臨時職員の給与等に関する規則により任用しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-②	小中学校学習教室空調設備整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ	
担当部署名	教育部 教育施設課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進		
					Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童・生徒の感受性豊かな人格形成を図るため、夏場においても、安全・快適な学習環境を保持できるよう空調設備を整備する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,414				
		(b) 予算現額	582				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 832				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	582				
	B. 執行済額		582				
	うち交付金充当額		465				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・832千円の減額が発生しているが、工事費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	空調機天井吊形設置工事 （家庭科教室空調機天井吊り形2台設置）	目標	（ 2台 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	2台				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	家庭科教室空調機を2台設置し、活動目標（指標）が達成できた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	空調機天井吊形設置工事 （家庭科教室空調機天井吊り形2台設置）	目標	（ 0台 ）	（ 2台 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		2台			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
	進捗状況説明	知念中学校の家庭科教室に空調機を2台設置し、夏場における安全・快適な学習環境が整った。					

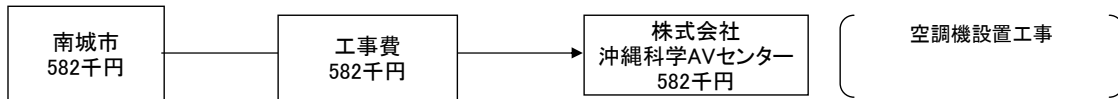
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	空調機を整備することにより、電気代等の維持管理費が負担となる。	太陽光や風力発電などを利用することにより、電気代の節約や地球温暖化防止を図る。

今後の取り組み方針

平成25年度中に市内小中学校等に空調設備を16台整備したい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
582	582	465	117	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、指名競争入札により業者を選定しており妥当と考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

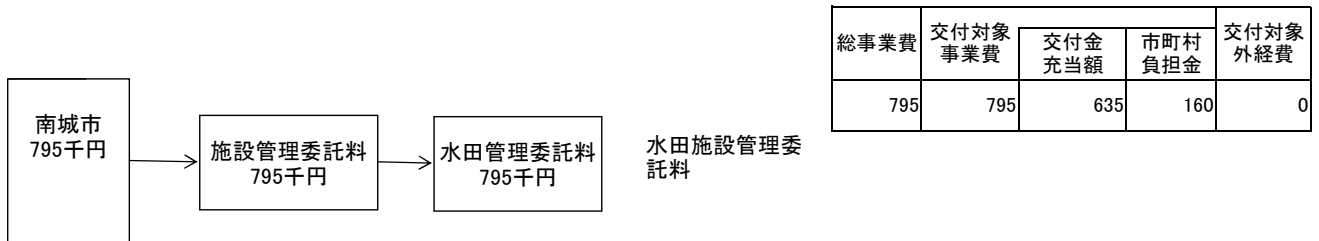
市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-③	受水走水田園体験事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ	
担当部署名	教育部 教育指導課	事業実施（予定）年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	将来を担う感受性豊かな児童の育成を図るため、沖縄の稲作の発祥地とされる本市にある受水走水(うきんじゅはいんじゅ)の水田施設において、体験学習プログラムの一環として稲栽培を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	795				
		(b) 予算現額	795				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		795	0			
	B. 執行済額		795				
	うち交付金充当額		635				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明							
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	田園体験学習人数	目標	(453人)	()	()	()	
		実績	467人				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	市内8小学校の小学5年生467名が田園体験学習に参加した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	田園体験学習人数	目標	()	(453人)	()	()	()
		実績		467人			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	沖縄における稲作発祥の地とされる、本市にある受水走水(うきんじゅはいんじゅ)の水田施設において、市内の小中学生に田植えや稲刈りを体験させることで、地域の歴史や食文化を学ぶ機会を設けることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	かつて本市において稲は各地域で栽培され食されてきたが、現在、稲の栽培は行われていないため、日頃、主食としている米の栽培を知らない児童が多い。沖縄の稲の発祥地とされる当地において、田植えと稲刈り等を児童へ体験させることにより、食文化や地域の歴史を学習することが出来た。	行政(教育指導課)と、農作業の専門的知識を要する水田施設管理人、そして各小学校の3者が一体となり、更には、一括交付金を活用した効率的なものとなっているため、現行通り継続して行きたい。

今後の取り組み方針

市総合計画基本方針の学校教育の充実に資するため、体験学習プログラムの一環として稲作体験を行うことにより、児童生徒の勤労観、職業観を育てる体験学習事業として、平成25年度以降も継続して実施したい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費目・ 点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○水田施設管理委託料について、市と施設管理人との間で委託契約を締結し支出をしているので、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-①	文化のまちづくり実行委員会支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア	
担当部署名	企画部 まちづくり推進課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活用したまちづくり Ⅲ-3-(2)		
事業内容	地域伝統文化の継承及び観光振興を図るため、南城市文化センターを拠点に芸能公演、夏休み短期音楽スクール、ボランティア育成事業等の各種公演、研修事業を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		5,129				
			4,059				
			▲ 1,070				
			—				
			4,059	0			
	B. 執行済額		4,059				
	うち交付金充当額		3,246				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		不用額1,070千円が発生しているが、当初、賈鵬芳(ジャー・バンファン)コンサート等5公演を予定していたが、1公演が減ったため、減額となった。100%執行し、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	主要イベントへの運営費補助	目標	(4件)	()	()	()	
		実績	4件				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	南城市文化センターで開催された4公演について、必要経費の一部を補助した。 ・賈鵬芳(ジャー・バンファン)コンサート ・心ぼっかぼかコンサート ・シュガーホール発地域めぐり出前ステージ ・7th JAZZ in Nanjo						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	南城市文化センター・自主公演4事業 ・賈鵬芳(ジャー・バンファン)コンサート 495名 ・心ぼっかぼかコンサート 400名 ・シュガーホール発地域めぐり出前ステージ 1,100名 ・7th Jazz in nanjo 414名	目標	(—)	(2,409人)	()	()	()
		実績		2,409人			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	本事業においては、当初予定していた来場者数を達成することができた。県内唯一のクラシック専用ホールとして、クラシック公演のみとの認識をもたれがちであるが、地域芸能や地域で活躍する人材を起用した多様な音楽の公演を実施することで、多くの来場者を迎えることができたものと考えられる。今後もクラシックはもとより、地域に根差した公演展開することで、市民をはじめ、県内外からも多くの来場者を迎えることができるよう、多様な音楽の公演を行っていく。						

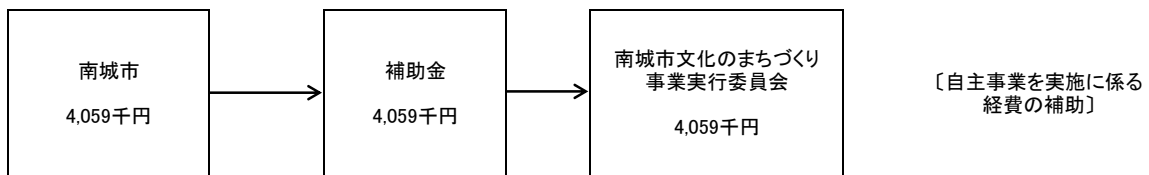
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	南城市文化センターにおいては、クラシック専用ホールとしてはもとより、多様なジャンルの音楽の公演を行い、幅広い客層から支持を得ている。更なる誘客を図るためには、積極的な広報活動が必要である。	これまで実施してきた市内中心の広報だけではなく、市外や県外に向けて広報活動を展開したい。

今後の取り組み方針

南城市文化センターへの更なる誘客を図るため、他のホールの状況も参考にしながら、市外や県外へ広報活動を展開するとともに、クオリティの高い公演を開催したい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,059	4,059	3,246	813	0



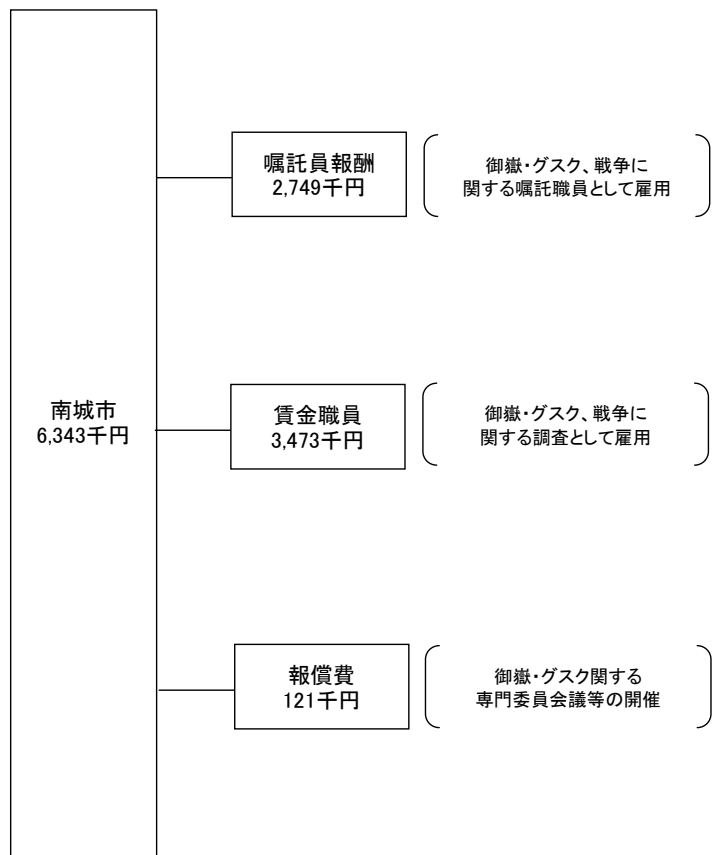
資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・本市において文化事業を実施する上で、文化施設を持つ実行委員会へ支出は妥当である。 ・また、予算に応じた事業を展開しており、それぞれが事業目的に合致した支出となっている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-②	なんじょう歴史文化保存継承事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部署名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり III-3-(2)	
事業内容	本市は神の島久高島や世界遺産「斎場御嶽」、国指定文化財「グスク等」の多くの歴史遺産、琉球王朝時代から引き継がれた精神文化が今も数多く残る地域である。これら貴重な文化遺産を後世に引き継ぐことを目的になんじょう歴史文化保存継承事業を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,599				
		(b) 予算現額	6,343				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 4,256				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	6,343	0			
	B. 執行済額		6,343				
	うち交付金充当額		5,075				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		不用額4,256千円のうち、1,892千円は専門委員の日程調整がつかず、予定していた回数(10回)を開催できなかった。また、残りの2,364千円は調査員を賃金として6名雇用する予定だったが、年度途中雇用者2名を含めて5名しか雇用できず不用額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	御嶽・グスク等調査	目標	(60字)	()	()	()	
		実績	60字				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	現地調査(聞き取り、現場確認、写真撮影、採寸等)及び文献による調査を60字で行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	御嶽・グスク等調査件数	目標	(0字)	(60字)	()	()	()
		実績		60字			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	現地調査等により、これまで知られていなかった文化財等の由来や場所の特定をすることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	高齢化等により、文化財等の場所や由来等について知っている方が減少したため、十分に調査ができない箇所(個票が空欄の部分)があった。	文献調査等をもとに更なる調査が必要。また、場所の特定については聞き取り、文献の情報をもとに現地調査してその場所をGPSで記録をするなど後世に残せるような形で行う。
今後の取り組み方針		
十分な調査ができなかった点等については、できる限り情報収集した上で、専門委員へ引き継ぎ、発刊の準備を行いたい。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,343	6,343	5,075	1,268	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、御嶽・グスク及び戦争に関する調査に必要な嘱託職員、賃金職員、専門委員への人件費であり、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	